

# 若年層の投票率向上推進計画策定スケジュール（予定）

令和4（2022）年2月25日 現在

年度	選挙	パイロット事業	ワーキンググループ (WG)
令和3 (2021) 年度	4 8	8月26日  パイロット事業（常時啓発） 主権者教育オンライン講演会  講師：政治解説者 篠原文也氏 当日視聴者：87名	自由参加（DVD配布）
	9		9月16日  第1回WG ◎事業説明・課題の抽出 ・なぜ、若者の投票率は低いか ・どうしたら投票率が向上する について意見交換
	10	10月31日執行衆議院議員総選挙  パイロット事業（選挙時啓発） 若者向けターゲット広告 （動画・バナー）	
	1 2	2月8日  パイロット事業（常時啓発） 若年層向けオンラインセミナー  講師：時事YouTuber たかまつなな氏 参加者：49名	自由参加（DVD配布）  2月25日  第2回 WG ◎課題・論点の整理と対応策の 検討 ・第1回WG、R3年度事業を踏まえ、 啓発の方策等について意見交換
	3		

年度	選挙	パイロット事業	ワーキンググループ (WG)
令和4 (2022) 年度	4 5	5月中旬	第3回 WG ◎計画（骨子案）の検討
	7	令和4年参議院議員通常選挙  パイロット事業（選挙時啓発） ・子連れ投票促進メッセージ カード作成・配布 ・若者向けターゲット広告 （動画・バナー）	
	9	9月中旬	第4回 WG ◎計画（素案）の検討
	10		計画（素案）に対する パブリックコメントの実施
	11 12 1	1月中旬	第5回 WG ◎計画（最終案）の検討 →選挙管理委員会へ提出

若年層の投票率向上推進計画 公表

# 第1回WGで出た課題・意見

## なぜ、若者の投票率は低いのか？

● 政治、選挙が身近でない、関心がない

● 誰に、どこに投票したら良いかわからない

## どうしたら投票率が向上するか？

### 調べ、考え、判断して投票するために

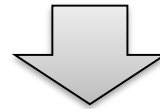
- あらゆる機会を通じた啓発（常時啓発）  
→ 投票の質の向上

若者が候補者や政党について、調べ、考え、判断することを目標に、若者が興味のある社会の問題、課題について調べて、議論する場、機会を増やしていく。

### 政治、選挙を身近に感じ、関心を持つために

- 選挙時を中心とした啓発（選挙時啓発）  
→ 投票率の向上

選挙に際して、政治、選挙に興味のない若者が、投票所に足を運ぶことを目標に、若者の興味・関心を惹く方法で投票の呼び掛け等を行う。



## 若者向けの、若者に合った啓発方法は何か？

- ・ 子連れ投票の促進
- ・ 選挙に関する役割の創出
- ・ 学校教育で社会的な課題等についての議論

- ・ 投票所設置場所の工夫、投票所に有名人を配置
- ・ 若者の興味を惹く動画の作成、発信
- ・ 投票所の周囲に子どもが楽しめるブースを設置

# 令和3(2021)年度 パイロット事業について

## 第1回パイロット事業（主権者教育オンライン講演会）[R3.8.26実施]

### 事業概要

- 目的 本県の「主権者教育」の推進を図るべく、学校教育や選挙啓発に携わる者が各々その重要性を認識し、相互の連携を深めること
- 講師 篠原文也氏（政治解説者）

### 開催結果概要

- 申込者数 101人（内訳：教職員80人、選管関係者12人、保護者3人、大学生2人、その他4人）
- 参加者数 87人

### アンケート結果概要

- 実施期間 R3.11.16～R3.12.3
- 調査対象 講演会参加者（87人）
- 回答者数 38人（回答率 43.7%）

#### 〔アンケートに対する回答における主な意見〕

- ・（自身で実践できる（できそう）と思ったこととして）授業での新聞の活用
- ・（下の世代につなげるために）親世代に対する啓発も必要ではないかと感じた
- ・若者だけの問題ではなく全ての国民が当事者なのに、当事者意識がないことが最大の課題
- ・実際の政治状況を鑑みるとなかなか（学校で）説明しづらいところがある

## 第2回パイロット事業（若年層向けオンラインセミナー）[R4.2.8実施]

### 事業概要

- 目的 若年層に向けた選挙啓発の一環として若年層向けオンラインセミナーを開催し、若年層の選挙や政治への関心の向上と参加を促す。
- 講師 たかまつなな氏（時事YouTuber、（株）笑下村塾 代表）






### 開催結果概要

- 申込者数 59人（内訳：学生20人、社会人18人、選管関係者21人）
- 参加者数 49人

### 今後の予定

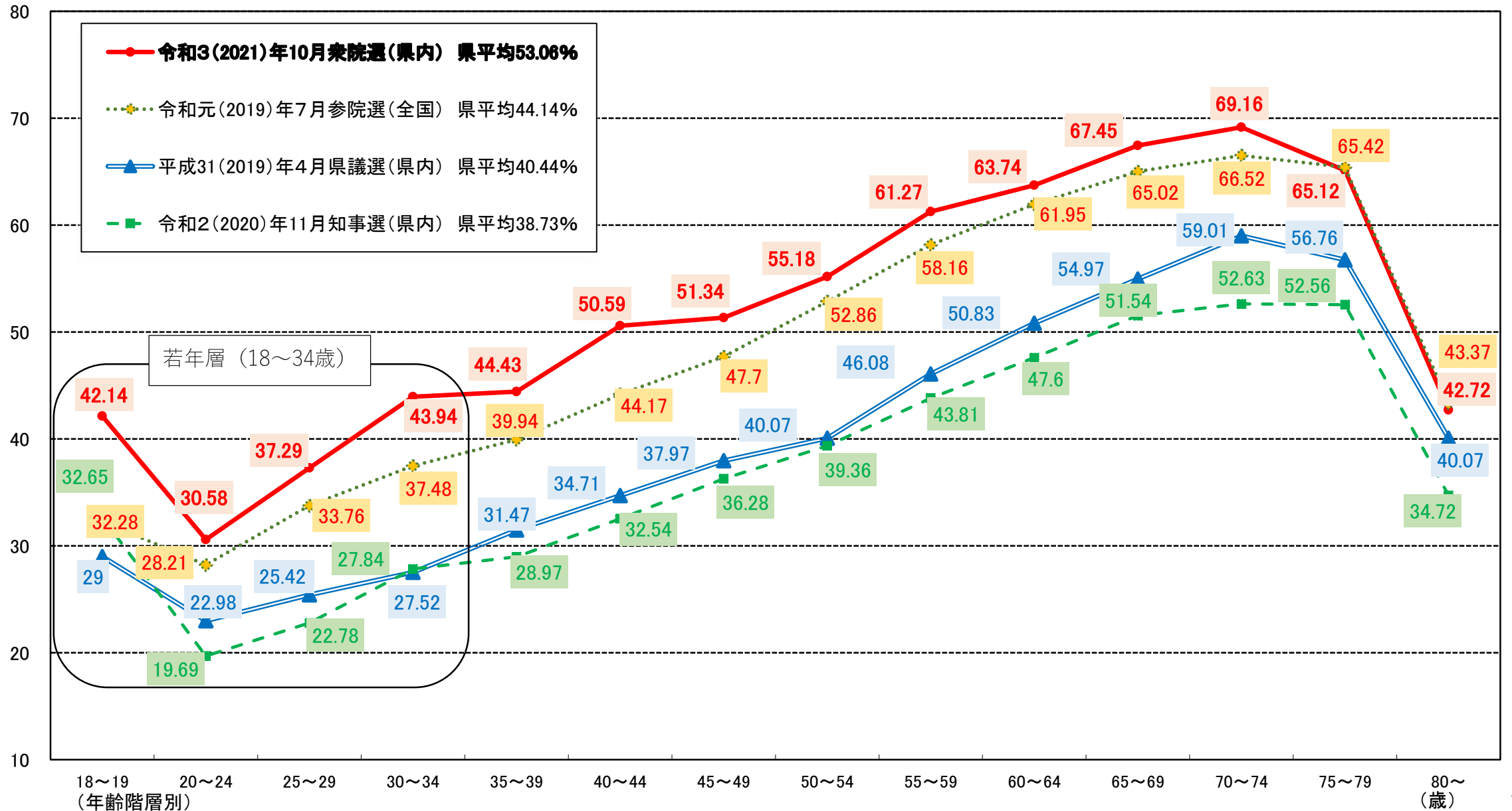
参加者にアンケートを実施、3月集計予定

## 令和3年10月衆院選でのデジタルコンテンツを活用した啓発事業の主な実績

<p>YouTube ターゲティング広告 (15秒) 【拡充】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…15秒啓発CM (宇都宮ブレックス 比江島選手起用)</li> <li>・配信期間…10.19～10.31(13日間)</li> <li>・配信対象…<u>県内の18～34歳</u></li> <li>・配信回数… 706,100回 (委託料 3,150,400円 : 4.46円/回)</li> <li>・選管HP移行数… 334回</li> </ul>	
<p>YouTube ターゲティング広告 (8秒) ① 【新規】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…8秒啓発CM (タレント BUTCHさん起用)</li> <li>・配信期間…10.19～10.31(13日間)</li> <li>・配信対象…<u>県内の18～34歳</u></li> <li>・配信回数… 298,267回 (委託料 970,750円 : 3.25円/回)</li> <li>・選管HP移行数… 70回</li> </ul>	
<p>YouTube ターゲティング広告 (8秒) ② 【新規】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…8秒啓発CM (タレント BUTCHさん起用)</li> <li>・配信期間…10.19～10.31(13日間)</li> <li>・配信対象…<u>県内の18～34歳</u></li> <li>・配信回数… 352,678回 (委託料 970,750円 : 2.75円/回)</li> <li>・選管HP移行数… 97回</li> </ul>	
<p>スマートフォンの位置情報を使ったターゲティング広告 【一部新規】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…期日周知等バナー広告3種類(宇都宮ブレックス 比江島選手起用)</li> <li>・配信期間…10.19～10.31(13日間)</li> <li>・配信対象…<u>県内の18～44歳</u></li> <li>・配信回数…2,166,479回 (広告料 1,870,000円 : 0.86円/回)</li> <li>・選管HP移行数… 2,642回</li> </ul>	
<p>Instagram ターゲティング広告 【一部新規】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配信内容…期日周知等バナー広告2種類(宇都宮ブレックス 比江島選手起用)</li> <li>・配信期間…10.19～10.31(13日間)</li> <li>・配信対象…<u>県内の18～44歳</u></li> <li>・配信回数… 849,951回 (広告料 715,000円 : 0.84円/回)</li> <li>・選管HP移行数… 4,542回</li> </ul>	

# 第49回衆議院議員総選挙(小選挙区) 年齢階層別投票率

(%)



(投票率)

# 令和4（2022）年度栃木県明るい選挙推進運動（常時啓発）事業計画案

## I 学校教育等における主権者教育の推進

	事業項目	内容	時期等
1	ポスターコンクール	小学生、中学生、高校生からの作品募集	5～10月
2	選挙啓発出前講座の実施	学校での選挙啓発出前講座の実施・支援	随時
3	高校3年生向けメッセージカード	高校3年生を対象に、投票を呼び掛けるメッセージカードの配布	6月
4	子連れ投票促進メッセージカード【新規】	小学校低学年の児童とその保護者を対象に、子連れ投票を呼び掛けるメッセージカードを配布	6月
5	学校教育と連携した選挙啓発	県教育委員会と連携し学校教育段階における選挙啓発を実施	随時

## II 若年層への啓発

	事業項目	内容	時期等
6	とちぎ選挙ユースサロンの開催	20～30代を対象とした参加体験型啓発事業の実施	通年
7	大学祭等における啓発	大学祭等における啓発用資材配布・投票呼び掛け	随時
8	若者啓発団体の活動支援	「栃っ子！選挙推進プロジェクト」の活動を支援（資材貸与等）	随時
9	「大学コンソーシアムとちぎ」と連携した選挙啓発	「大学コンソーシアムとちぎ」と連携し大学における選挙啓発を実施	随時

## III 幅広い年齢層を対象とした主権者教育の推進

	事業項目	内容	時期等
10	インターネットを活用した情報発信	栃木県ホームページ、ツイッターによる情報発信	通年
11	新聞記事を活用した啓発	下野新聞で年間6回の啓発記事掲載	通年
12	ラジオ放送スポットCM	FM栃木で20秒CMを放送	12～1月
13	研修会への講師等派遣	市町等が開催する研修会への講師等の派遣	随時
14	啓発資材貸出	「めいすいくん」着ぐるみ、DVD等の貸出	随時
15	県民の日イベントでの啓発活動	県民の日イベントにおける啓発用資材配布、投票呼び掛け	6月

## IV 推進体制の強化

	事業項目	内容	時期等
16	選管委員・明推会長等研修会	市町選管委員・明推会長・推進員等を対象とした研修会の開催	2月
17	明るい選挙推進研究大会	芳賀郡市町選挙管理委員会連合会と共催で大会を開催	未定
18	明るい選挙推進指導員連絡会	希望する市町において指導員を対象とした連絡会を開催	1～3月
19	市町啓発事務担当者会議	情報・意見交換を通じて啓発活動を研究	8月
20	明るい選挙推進協議会の開催	常時啓発事業計画等に対する意見の聴取	3月
21	研修会等への派遣	地域コミュニティフォーラム（埼玉県）若者リーダーフォーラム（茨城県） 明るい選挙リーダーフォーラム（開催地調整中）	随時
22	「若年層の投票率向上推進計画」の策定	若年層の投票率向上に向け、選挙啓発事業を効果的に実施するための投票率向上推進計画を策定	通年

# 子連れ投票促進メッセージカード（令和4年度パイロット事業）

## 投票所に同伴することができる子供の範囲

改正前

原則として幼児のみ

平成28年公職選挙法改正後

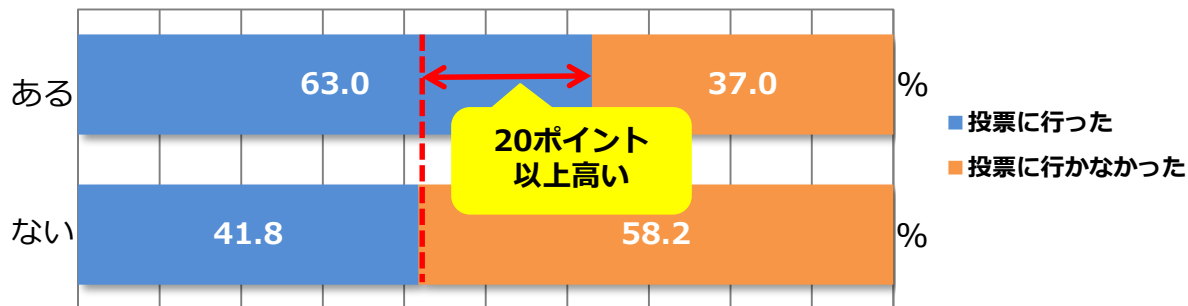
幼児、児童、生徒その他の年齢満18年未満の者に**拡大**

子連れ投票が原則可能に

## 子連れ投票の効果

- ①親が子供を連れて投票に行くことが可能となるので、家族で出かけたついでに投票できるなど、投票に行きやすくなる。
- ②親が現実的に投票している姿を子供に見せることで、将来に有権者への有効な啓発につながる。

子供の頃に親の投票についていったことのある人・ない人の投票参加の比較



## 事業の概要

子連れ投票を呼び掛けるメッセージカードを小学生低学年の生徒とその保護者に配布し、子連れ投票の促進を図る。

- ①親に対する子連れ投票の周知、親の投票促進
- ②子連れ投票の機会を増加させ、同伴した子供が有権者になった際に投票参加することを促す。

## 内容・予算

配布対象は県内小学校1～3年生の生徒とその保護者

想定仕様 A4二つ折り

予算額 650,000円

配布数 50,000部

(参考) 令和3年度高校生向けメッセージカード





# 選挙時啓発① YouTubeターゲティング広告 (令和4年度パイロット事業)

## 事業の概要

YouTubeで県内若年層（18～34歳）を対象としたターゲティング動画広告を実施して、若者に向けた期日周知・投票促進を図る。

R3衆院選15秒CM動画



## 令和3年衆院選時のコンセプト

若者向けに特化した動画を作成・広告する。

- ・選挙広告であることが明白であると避けられる。  
→ **動画冒頭では選挙色を出さずに、一見無関係な構成にする。**
- ・時間が長い広告については若者に好まれない。  
→ **従前の15秒CMに加えて、より短い動画を作成。**

R3衆院選8秒CM動画（2種作成）



## 令和4年度の実施について

若者向けの選挙時啓発として拡充して実施。WGでの議論を踏まえて、より効果的な内容で実施する。



# 選挙時啓発② スマートフォンの位置情報を使ったターゲティング広告 (令和4年度パイロット事業)

## 事業の概要

スマートフォンの位置情報（GPS）データを活用し、指定したエリア内の有権者の利用アプリ内へバナー広告を配信する。

## 令和3年衆院選時のコンセプト

- 子連れ投票周知用のバナーを追加で作成・配信
- ・キャッチフレーズは「子供と一緒に選挙に行こう！」
- ・子育て世代を意識して、ターゲティング年齢を44歳まで拡大

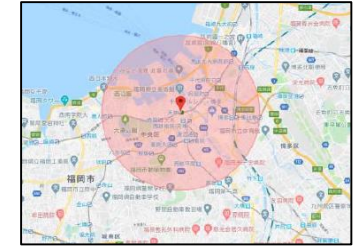


R3衆院選バナー 左から(小),(大),(大)追加作成分

## 令和4年度の実施について

若者向けの選挙時啓発として拡充して実施。WGでの議論を踏まえて、より効果的な内容で実施する。

配信エリアを半径100m~100kmで指定可能。GPSデータから県内にいる人にターゲットして広告を配信することができる。



配信先対象メディアは70,000以上



クックパッド



食ベログ



乗換NAVITIME



Pixiv



マンガBANG



Yahoo! JAPAN

など



追加作成バナー